

伝統医療看護連携研究 論文投稿規定

I. 投稿内容

東洋医学・柔道整復学等の伝統医学、看護学および関連諸科学の発展に貢献する内容とする。

II. 投稿資格

投稿に関し筆頭著者は、会員であることを条件とする（その他の共同執筆者はその限りではありません）。

III. 応募上の注意

1. 1巻につき筆頭者著者1人1題とする。
2. 他雑誌や大会等で発表済みの演題は応募しないでください。
3. 著作権については、会員の権利保護のために、掲載された原稿の著作権は本学会に属するものとする。帰属する資料を引用する場合は、著者がその許可手続きを行うこととする。論文・抄録は、学会誌に掲載されるほか、オンライン公開される。
4. 採択された演題の取り消しはできません。

IV. 原稿の区分

原著論文、研究ノート、症例・事例報告、総説、解説・意見、学会報告、書評、学生論文 のいずれかとする。

1. 原著論文

方法や結果に独創性や新規性が認められる実証的、実践的、理論的な研究を指し、その発展に役立つ内容を順序立てて明瞭に記述したもの。

2. 研究ノート

オリジナルな学術研究、調査、事例などをまとめた研究報告であり、独創性や新規性のみならず、有用性、速報性などの観点からも会員が広く関心を持つと思われるもの。原著論文の短縮版を想定している。

3. 症例・事例報告

独創性に富み、新しい知見を含む症例・事例の経過をまとめたもの。

4. 総説

国内外の諸研究を広く検討し、独自の観点から総合的に概観したもの。

5. 解説・意見

専門的な内容を非専門家にも理解できるように分かり易く説明したもの。

6. 学会報告

学会開催および参加報告をまとめたもの。

7. 書評

会員に有用な文献の批評や単なる文献紹介にとどまらず、オリジナルな批評を含むもの。著

者等から書評掲載依頼があった場合は、編集委員会において採否を決定し、執筆を依頼する。

8. 学生論文

学生会員により執筆されたもの。

V. 原稿形式・投稿原稿

1. 投稿原稿は、原則として和文とする。
2. 作成ソフトは Microsoft 社製 Word(Windows 版、Mac 版)を用いること。
3. 原稿用紙は、A4 用紙を使用し、余白：上 25cm、下 30cm、左右 25cm とする。
4. 文字サイズは、10.5 ポイント、和文フォントは MS 明朝で全角、英文及びアラビア数字は Times New Roman 半角とする。
5. 1 ページあたりの文字数は 1,600 字とする。
6. 原則として、表紙を含まず(図・表を含めて)原著論文、研究ノート、総説は原稿用紙 10 ページ以内、症例・事例報告、解説・意見、学会報告、書評、学生論文は、原稿用紙 4 ページ以内とする。
7. ページ番号は、本文 1 ページ目から最終ページまで、通し番号を用紙の中央下部に付記する。

VI. 原稿の構成

1. ページ設定

- (1) 1 ページ目：表紙(表題、副題、執筆者、所属先、要旨、キーワード)
- (2) 2 ページ目以降：本文

2. 表紙

- (1) 表題：24 字以内
- (2) 副題：35 字以内
- (3) 表題・副題(英文)：文頭の文字のみ大文字、以下は小文字とする。
- (4) 執筆者
- (5) 執筆者(英文)：姓名の順で記載し、姓名との間は 1 文字分空ける。姓については、全て大文字とする。名については、文頭の文字のみ大文字。以下は小文字とする。
- (6) 執筆者所属先：著者は、所属を記載し、学校名、学部名(学部が無い場合は不要)、学科名の順に列記をする。共著者がいる場合は「,(コンマ半角)」で列記する。
- (7) 要旨：400 字以内
- (8) キーワード：キーワードに内容を的確に示す言葉を選び、5 語以内とする。
- (9) Abstract(英文要旨)：300 語以内。各自英文校閲を受けたもののみ受け付ける。
- (10) キーワード(英文)：キーワードに内容を的確に示す言葉を選び、5 語以内とする。
- (11) 筆頭者連絡先：所定の位置に、筆頭者名、所属先住所、所属先名、電話番号、E-mail

3. 本文

- (1) 本文
 - ① フォントは、MS 明朝 10.5pt とする。

(2) 図・表(グラフ)・写真

- ① 図表等は本文ファイルとは別に添付し、図表等の挿入希望位置を本文中（ ）にて指定する。

<記載例>である(表1)。

- ② 図・表(グラフ)・写真1枚の刷り上がりの大きさと文字数の換算の目安は、1/4程度(450字)、1/2程度(900字)、1枚程度(1,800字)のいずれかに相当する。

- ③ 番号、題名の位置は、表(グラフ)は上に、図・写真は下に記載する。図・表(グラフ)・写真の内容がよく理解できる説明を記載する。カラーで提出した場合、ネット上にはカラーで掲載するが、冊子印刷はモノクロとなるので、モノクロでもよく識別できるようなカラーとして作成すること。文字サイズ等に十分配慮する。

※図・表(グラフ)写真は、相当な字数を消費しますので、注意すること。

- (3) 原稿は、「はじめに」・「目的」・「方法」・「倫理的配慮」・「結果」・「考察」・「結論」の項目別にまとめ、各項目にはローマ数字で番号をつける。また「はじめに」では、先行研究を検討した旨を明記する。

(4) 見出し番号

節にあたる見出し番号については、I、II…、1、2…、(1)、(2)…、①、②…という順で適宜使用する。

(5) 本文および文献等の作成方法

- ① 和文原稿には、現代仮名遣いによる平仮名および常用漢字を用いることを原則とする。
- ② 本章中の句読点は「、」「。」の組み合わせに統一する。
- ③ アルファベット、数字、ハイフンおよび各種記号等は原則として半角とする。
- ④ 一般的な外国語の人名、述語、物質名等には、カタカナを用いることを原則とする。
- ⑤ 引用文が数行にわたるときは、前後各1行ずつあけ、かつ、左側を全角2字分の字下げして、引用であることを明示すること。字体は、本文と同じMS明朝体とする(イタリック体や「」は使用不可)上記を投稿規程に追記する。
- ⑥ 文章中の元素名、化学物質名は、原則として和名で書く。
- ⑦ 数字は、原則として算用数字を用いる。生物の学術名はイタリックとする。
- ⑧ 単位は、原則として国際単位系により慣用されているものを用いる。

(6) 倫理的配慮

倫理的配慮とは、主に以下のこととする。対象者への研究参加の説明と同意の手続きが適切に行われている。対象者が心身の負担・苦痛や不利益を受けない配慮がされている。個人データが守秘され、プライバシーが保護されていること。症例・事例報告の場合は、人を対象とする倫理指針の適用外であり倫理審査は不要であるが、対象者には同意を得ておく必要がある。

<記載例> 対象者は、口頭による募集を原則とした。その結果参加の意思を示したすべての対象者には、文章と口頭により、プライバシーの保護と本研究の目的および方法、研究期間、研究への参加は任意であること、研究への参加に同意しなくとも不利益を被らないこと、研究への参加に同意したあとでもこれを撤回できることを説明し、同意を得た。また、本研究は日本伝統医療看護連携学会倫理審査委

員会にて承認を得た(承認番号：△△-△△)。

<記載例> 本研究は、参加者の個人情報の保護と治療データを匿名加工し発表することを文書と口頭で説明を行い書面にて同意を得た。

(7) 利益相反

一般的には、ある行為が、一方の利益になると同時に、他方の不利益になるような行為をいう。法律的には、さまざまな利益相反行為が禁止ないし制限されているが、医療との関係では、臨床研究における利益相反行為が重要である。

利益相反は見出しを設けて記載すること。

<記載例> (利益相反がない場合)開示すべき利益相反状態はない。

<記載例> (利益相反がある場合)この研究の○%は、×××からの支援により行った。

著者○○○○は、×××との間に利益相反を有する。

(8) 引用・参考文献の記載方法

※引用・参考文献の記載方法は、「,」「.」の組み合わせに統一する。①文献は本文中に肩付けた引用番号順に配列する。

②文献の記載方法

●図書

【全体を利用した場合】

著者名.書名.訳者名.版表示.出版地.出版社.出版年.

- ・著者が複数の場合は、最初の1名のみを記載し、ほか(etal.)で省略してもよい

<記載例>

引用番号) 南裕子.阪神・淡路大震災そのとき看護は.初版,東京,日本看護協会出版会,1995,

【特定のページを利用した場合】

著者名.論文名(見出し名).書名.編者名.版表示.出版地.出版社.出版年,はじめのページ-おわりのページ.

<記載例>

引用番号) 小川卓良.症例から学ぶ悪性疾患の鑑別法 13.医道の日本第 64 巻第 8 号,神奈川,医道の日本社,2005,85-88,

引用番号) 南裕子.阪神・淡路大震災そのとき看護は.初版,東京,日本看護協会出版会,1995,

【辞書・事典の1項目】

著者名.項目名.書名.巻次.編者名.版表示.出版地.出版社.出版年.はじめのページ-おわりのページ.

- ・巻次がない場合、書名はピリオドで区切る

<記載例>

引用番号) I.Dox,B.J.Melloni&G.M.Eisner.core【コア,芯】 図解医学事典,2,東京,1993,111-111,

【雑誌論文】

著者名.論文名.誌名.巻数,号数.出版年.はじめのページ-おわりのページ.

- ・「巻数」、「号数」は、どちらか一方のみしか持たない雑誌も多い

<記載例>

引用番号) 医学と看護学の比較検討～国家試験と教科書の観点から～.伝統医療看護連携研究.2020,第1巻,第1号,1-4.

【新聞記事】

著者名.記事タイトル.新聞名.発行年月日.朝夕刊.版.該当ページ.

<記載例>

引用番号) 前田真吾.「伝統医療」「看護」の連携へ向け発足.鍼灸柔整新聞.2020年1月25日,第1113号,1.

●インターネット

【電子書籍全体を利用】

著者名.書名.訳者名.版表示.出版地.出版社.出版年.総ページ数.入手先.入手日付.

<記載例>

引用番号) 長濱善夫.東洋医学概説.大阪,創元社,2014,350,BookLive,2020年5月6日.

<記載例>

引用番号) 齋藤正子,立石和子,及川敦子.訪問看護の災害対策“訪問看護の知恵袋”－新型コロナウイルス感染症対策の現状と課題－.2020,第2巻,第1号,8-8.https://doi.org/10.34511/jstn.2.1_8.

【電子ジャーナルの論文】

著者名.論文名.誌名.巻数,号数.出版年.はじめのページおわりのページ.入手先.(入手日付).

<記載例>

引用番号) 矢野忠.東洋医学の再発見～鍼灸と看護の医療連携の役割～.伝統医療看護連携研究.2020,第1巻,第1号,5-15.J-STAGE,2020年4月30日.

【新聞記事(データベース・新聞社のサイトの記事)】

著者名.記事タイトル.新聞名.発行年月日.朝夕刊.版表示.該当ページ.サイト名(データベース名).入手先.(入手日付).

<記載例>

引用番号) 日刊工業新聞.経営ひと言／仙台赤門短期大学・佐竹正延学長「看護は発展途上」.日刊工業新聞.2018年4月12日, <https://www.nikkan.co.jp/articles/view/00469394?isReadConfirmed=true>.日刊工業新聞オンライン,2020年5月5日

【ウェブページ】

著者名.ウェブページの題名.ウェブサイトの名称.更新日付.入手先.(入手日付).

<記載例>

引用番号) 伊東太郎.第40回『痛風』<赤門教職員コラムリレー>.赤門鍼灸柔整専門学校.2021年4月30日.2021年5月6日.

(9) 投稿

- ①原稿提出時には、原稿ファイルを提出する。投稿ファイルの提出は、学術誌編集員が指定した方法で行う。
- ②投稿に関する問い合わせ等の窓口は事務局とする。

jstnap@akamon.ac.jp

〔附則〕

2019年	7月17日	施行
2020年	7月31日	改正
2020年	10月5日	改正
2020年	12月16日	改正
2021年	1月26日	改正
2021年	5月1日	改正
2024年	10月25日	改正